

映画で旅する三陸

映画で旅する三陸

Sanriku Cinema Journey

映画で旅する三陸

青森 ←→ 岩手 ←→ 宮城

TAKE FREE



廻り神楽

©VISUAL FOLKLORE INC.



マイブルーヘブン

©2022映画「マイブルーヘブン」製作委員会



永遠の1分

©2023映画「永遠の1分」制作委員会



永遠の1分



大槌湾



山腹に抱かれて

©テレビ朝日

八戸 IC

久慈北 IC

田野畑中央 IC

宮古中央 IC

大槌 IC

釜石中央 IC

大船渡 IC

陸前高田 IC

至盛岡

至花巻

気仙沼中央 IC

石巻女川 IC

至仙台



宮古市の浄土ヶ浜



空に飛ぶ

©KOMORI HARUKA



鳥の跡

©2016 KASAMA FILM+KOMORI HARUKA



Dr.カサハラ長く地方へ
よちのへ帰国してははやく

©2024 Dr.カサハラ長く地方へ映画製作委員会



願いと揺らぎ

©2017 Peace Tree Products



釜石湾



釜石ラーメン物語

©「釜石ラーメン物語」製作委員会



ただひ、つなぐ

©2023映画「ただひ、つなぐ」製作委員会



春をかきわて

©Sonomi Sato



気仙沼湾



春の旅

©2010「春の旅」フィルムパートナーズ

Sanriku Cinema Journey—映画で旅する三陸
ガイドブック 2026・春

企画・制作・発行：シネマ・デ・アエルプロジェクト
発行：2026年春

許可のない本誌掲載情報、画像等の転載、
転記、複製を禁じます



データ版はこちら

Sanriku Cinema Journey

映画で旅する三陸

2011年に起きた「あの日」からの日々で生まれた物語、古くから伝わってきた風習や伝統、たくましく生きる人々の姿を追ったドキュメンタリーなど、三陸はたくさんの、そして素晴らしい映画の舞台となってきました。

宮城県石巻市から青森県八戸市まで、南北に長く連なる三陸沿岸エリアには、近年ユニークなローカルシアターや、定期上映会（コミュニティシネマ）を行う施設が誕生しています。どのシアターも、その土地の風土と人を感じる小さな愛らしい映画の場。ほとんどのシアターは不定期上映で、シネコンのような快適な設備はありませんが、ここでしか味わえない映画鑑賞が体験できます。

2021年には総延長359km（うち333kmは通行料金無料!）の高速道路、三陸沿岸道路が全線開通しました。太平洋に面した三陸沿岸エリアは、リアス式海岸のダイナミックで美しい景観に、個性の異なる街や集落が連なり、季節や場所ごとに美味しい山海の恵みが味わえます。マイカー、レンタカーの他、三陸鉄道、JR、BRT、バス、タクシーなど公共交通を組み合わせ、ゆったりとシネマジャーニーをお楽しみください。

ガイドマップには、舞台となった映画作品の紹介、各地のローカルシアター、シアタースタッフのセレクトによる素敵な何かに出会えるスポット、三陸を舞台にした映画を制作したスタッフのおすすめスポットを掲載しました。映画と人に出会う「シネマジャーニー」三陸でお待ちしています。

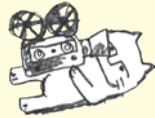
シネマ・デ・アエルプロジェクト



- | | |
|---|---|
| 1 | 2 |
| 3 | 4 |
| 5 | 6 |
1. 巽山公園から眺める久慈の市街地
 2. 楸ヶ崎の宮古港。奥に見えるのは重茂半島。
 3. 陸前高田の広田湾
 4. 遠洋漁船が停泊する気仙沼港
 5. 南三陸の志津川港。ギンザケの生簀が点在している。
 6. 旧北上川と石巻の市街地

ローカルシアター & コミュニティシネマ

宮城県石巻市から青森県八戸市まで、南北に長く連なる三陸沿岸エリアには、近年ユニークなローカルシアターや、定期上映会（コミュニティシネマ）を行う施設が誕生しています。どのシアターも、その土地の風土と人を感じる小さな愛らしい映画の場。ほとんどのシアターは不定期上映で、シネコンのような快適な設備はありませんが、ここでしか味わえない映画鑑賞が体験できます。



04 DORAシアター [岩手県宮古市]

いわて生協マリンコープDORAの2階にあるDORAホール（旧シネマリー）での上映会。多くのファンの支援により解散したみやこ映画生協の想いを引き継ぎ話題の映画を中心に定期上映を行なっています。

定員：DORAホール176席、DORAホール2 53席
岩手県宮古市小山田2-2-1 マリンコープDORA2F
上映プログラム、日程はHP、SNS等をご確認ください。



DORAシアター-BLOG



01 白マドの灯 [青森県八戸市]

学生から高齢者まで、誰もが上映会を主催できるよう支援する団体。「映画は、住む場所に関係なく質の高い芸術を提供し、まちに多様性をもたらし、他者を理解し、人と人が手を結ぶ力を秘めている」と考え、上映会を通して、その可能性の実現に取り組んでいます。有志とミュージアムにより運営しています。

定員：40名
青森県八戸市柏崎1丁目8-29
上映プログラム、日程はHP、SNS等をご確認ください。



白マドの灯HP

06 CINEPIT [岩手県釜石市]

釜石情報交流センター（釜石PIT）にて実施される定期上映会。

岩手県釜石市大町1丁目1-10
上映プログラム、日程はHP、SNS等をご確認ください。



緑とらんすHP

07 イオンシネマ「石巻」 [宮城県石巻市]

イオンモール石巻の2階にあるシネコン。子ども向けの映画から邦画、洋画はもちろん、最新の話作までさまざまな映画が上映されています。

宮城県石巻市茜平4-104
イオンモール石巻2F
上映プログラム、日程はHP等をご確認ください。



イオンシネマ石巻HP



02 善映館 [岩手県洋野町]

洋野町大野の阿子木地区にある木造の劇場。昭和30年頃の創立以来、映画の上映や演芸会を行う場として、地域の人々に親しまれてきました。現役のフィルム映写機、デジタル映写機を所有し、館主は映写技師として移動上映の場でも活躍しています。2023年以降は、年に一度「ひろののシネマ」が開催されています。

岩手県九戸郡洋野町
阿子木13-37-4



北村映画社HP



03 広島屋上映会 [岩手県岩泉町]

人気のお好み焼き店「広島屋」店内の特設会場で行われる上映会ではイベント限定『焼きうどんパン』や飲み物の販売も。

岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉村木54
上映会日程、営業時間はHP、SNS等をご確認ください。



お好み焼 広島屋 INSTAGRAM

05 シネマ・デ・アエル [岩手県宮古市]

震災に耐え残った築約200年の旧東屋酒造店の元酒蔵（国登録有形文化財）を内外の有志がセルフリノベーションし「映画で逢える、映画と出会う」をコンセプトに2016年より運営されている特設シアター。定期上映「マンズリーセレクト」、企画上映をはじめ、伝承芸能や舞台芸能、音楽、防災の学び、交流プログラムなどが展開されています。

定員：40名
岩手県宮古市本町2-2 東屋さんの蔵
定期上映：上映プログラム、日程はHP、SNS等をご確認ください。



シネマ・デ・アエルHP


08 シアターキネマティカ [宮城県石巻市]

宮城県石巻市中央1丁目のかつて「文化通り」と呼ばれた通りにある被災した空き家を改修して完成したシアター&カフェ。コンセプトを「That's Entertainment」とし、映画や演劇のほか、音楽ライブ、お笑い、落語、ダンス、アートパフォーマンス、ワークショップ等、多種多様なエンタメを発信している「複合エンタメ施設」です。

定員：35名
宮城県石巻市中央1丁目3-12
上映プログラム、日程はHP、SNS等をご確認ください。



シアターキネマティカHP



Sanriku
Cinema
Journey

三陸シネマ &
おすすめスポット

三陸の沿岸には、思わず足を運びたい風景と、人の営みがあります。映画はその魅力をさまざまなかたちで映し、それぞれの土地の個性を伝えてくれます。八戸から石巻までを5つのエリアに分け、舞台となった作品とともに三陸をたどります。

写真：断崖と豪壮な海食棚が連なる久慈の侍浜海岸

01 八戸 → 岩泉

映画で旅する三陸 主なロケ地、舞台 カテゴリ



『マイ・ブロークン・マリコ』

八戸市 警ドラマ
監督：タナダユキ / 出演：永野芽郁、奈緒、窪田正孝 / 2022年

親友の遺骨を抱えて走り出した主人公が、最果ての地で少しだけ前を向くまでの魂のロードムービー。熱狂的なファンを生んだ本作の終着地として描かれる、種差海岸の抜けるような空と海。

©2022映画『マイ・ブロークン・マリコ』製作委員会



◇ 種差天然芝生地

映画『マイ・ブロークン・マリコ』で、旅の終着地として描かれた場所。波打ち際まで広がる天然の芝生と、荒々しい岩礁のコントラストが美しい、三陸復興国立公園内にある種差海岸を代表する景勝地です。

青森県八戸市鮫町棚久保 / OPEN：散策自由



◇ NANAMARUNI COFFEE (ナナマルニコーヒー)

自家焙煎珈琲と様々なスイーツとドリンクが楽しめるカフェ。毎月変わるマンスリーコーヒーや限定ドリンク、そして店内を彩るマンスリーアートなど、月替わりのメニューや展示をお楽しみいただけます。

岩手県久慈市二十八日町2-21 / OPEN：10:00～20:00 (月、水、木、土) / 火曜休



◇ 昭和小巷 ガロ

昭和の空気がそのまま残る、レトロな雰囲気の喫茶&バー。赤いベルベットの椅子や温かみのある照明が、訪れる人をタイムスリップしたような気分させてくれます。ゆっくりと流れる時間の中でコーヒーを楽しめます。

青森県八戸市六日町38 2F / OPEN：12:00～14:00、17:00～22:00 / 日曜休

『星屑の町』

◇ 久慈市 警ドラマ

監督：杉山泰一 / 出演：大平サブロー、のん、ラサール石井 / 2020年

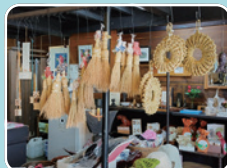
売れないおじさんコーラスグループと、歌手を夢見るヒロインが織りなす温かな再起の物語。「のん」さんが再び久慈の地に降り立ったことでも話題を呼んだ、昭和歌謡の懐かしいメロディが響く感動作。



◇ 六花 ROKKA (ロッカ)

ROKKAでは、障がいのあるスタッフも一緒に働いて、それぞれの得意なことを活かしながら、日々元気にお客様をお迎えしています。いろいろな個性があるからこそ、助け合い、認め合いながら、みんなが力を発揮できる。そんな社会を目指して、ROKKAは小さな一歩を重ねています。

岩手県九戸郡野田村野田22-15-2 / OPEN：10:30～17:00 (土日) / 金曜はランチのみ



◇ 横屋手しごとや

岩泉町の中心地、宇霊蘆山(うれいらさん)の麓にある「横屋手しごとや」。180年経過し傾きかけたレトロな建物。地元住民の手作り雑貨と休憩できる店です。

岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉字村木74 / OPEN：8:00～17:00 / 月曜休



◇ お好み焼 広島屋

岩泉で愛される、本格的な広島のお好み焼きのお店。ボリューム満点のお好み焼きは、地元客はもちろん観光客にもファンが多い一品です。最近では映画上映会も実施しています。

岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉村木54 / OPEN：火～金：17:30～23:00、土～日：11:30～14:00、17:30～23:00 / 月曜休

『ライアの祈り』

◇ 八戸市 警ドラマ

監督：黒川浩行 / 出演：鈴木杏樹、宇梶剛士、武田梨奈等 / 2015年

八戸で不器用に生きる女性が、悠久の縄文文化に触れながら本当の自分を見つけていく優しい物語。国宝の合掌土偶や活気あふれる陸奥湊の朝市など、八戸の魅力が詰まった一作。



◇ 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

映画『ライアの祈り』のロケ地であり、物語の重要な鍵となる場所。国宝「合掌土偶」をはじめとする是川遺跡の出土品を展示しており、縄文の美と神秘に触れることができます。

青森県八戸市是川字横山 / OPEN：9:00～17:00 (入館は16:30まで) / 月、祝日の翌日、年末年始休



◇ Saule Branche Shincho (ソールブランチ新丁)

かつて花街だった小中野「新丁」の古い旅館をリノベーションしたカフェ&ギャラリー。歴史を感じさせる建物と現代アートが融合した独特の空間で、こだわりのコーヒーとお食事、自家製スイーツなどが味わえます。

青森県八戸市小中野8-8-40 / OPEN：12:00～18:00 / 不定休 (企画展開催時のみ営業・要確認)



◇ cheese day (チーズデイ)

「八戸ポータルミュージアムはっち」内にある、本格的な欧州産チーズの専門店。ショーケースには世界各国のチーズが並び、手頃な価格で楽しめます。チーズを使ったスイーツやドリンクも人気です。

青森県八戸市三日町11-1 八戸ポータルミュージアムはっち2F / OPEN：11:00～18:00 (金・土は19:00) / 月(第1、3)、火休



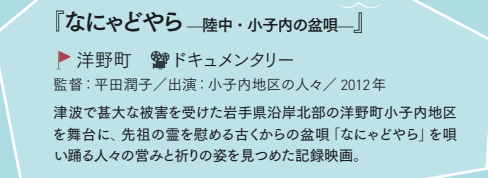
『永遠の1分。』

◇ 久慈市 警ヒューマンドラマ

監督：曾根剛 / 出演：マイケル・キダ、Awich、毎熊克哉 / 2022年

『カメ止め』の制作陣が贈る、久慈市を舞台に「笑いの力」で東日本大震災と真摯に向き合うヒューマンドラマ。葛藤を抱えながらも、地元の人たちと力を合わせて「奇跡の1分」を追う映画制作の軌跡を描いたハートフルな物語。

©2022映画『永遠の1分。』製作委員会



『なにやどやらー陸中・小子内の盆唄ー』

◇ 洋野町 警ドキュメンタリー

監督：平田潤子 / 出演：小子内地区の人々 / 2012年

津波で甚大な被害を受けた岩手県沿岸北部の洋野町小子内地区を舞台に、先祖の霊を慰める古くからの盆唄「なにやどやら」を唄い踊る人々の営みと祈りの姿を見つめた記録映画。

◇ 喫茶モカ

創業から愛され続ける、昭和レトロな雰囲気が漂う喫茶店。名物の「たまごサンド」は、ふわふわの卵焼きが挟まれたボリューム満点の一品。ナポリタンなど懐かしいメニューも揃っています。

岩手県久慈市本町1-20 / OPEN：10:30～19:00 / 水曜休



◇ 道の駅 青の国ふだい

三陸鉄道「普代駅」に隣接する珍しい道の駅。村特産の昆布を加工した海産物やお土産が充実。オリジナル昆布ソフトクリームがおすすすめ。

岩手県下閉伊郡普代村第9地割銅屋5-3 / OPEN：8:00～17:00

◇ TOFoku 食堂 (とうふおく食堂)

道の駅青の国ふだい構内にある食堂。東北産大豆、三陸にがり、普代の清水のみで作っている風味豊かな豆腐の製造販売と、豆腐を使用した定食や濃厚豆腐づくったスムージーなど提供しています。

岩手県久慈市夏井町大崎8-66 / OPEN：11:00～14:00、17:30～21:30 / 火・水休

◇ cafe canoa (カフェカノア)

陸中夏井駅からほど近くにある、隠れ家のようなカフェ&ダイニング。パスタを中心としたランチメニューが人気で、夜はバーとしても営業。ゆったりとした時間が流れる空間です。

岩手県久慈市夏井町大崎8-66 / OPEN：11:00～14:00、17:30～21:30 / 火・水休



◇ 志たあめや

創業創業天保3年(1832年)の老舗菓子店。レトロで可愛いオリジナルたぬきケーキはSNSでも話題。岩泉町産の炭火を使って香ばしく仕上げた「かりんとう」はお土産にも最適です。

岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉字下宿25 / OPEN：8:00～18:00 / 不定休



◇ Patisserie FIERTE (パティスリー フィエルテ)

田野畑村の自然の中に佇む小さな洋菓子店。地元の食材・田野畑牛乳などを使ったケーキや焼き菓子は、上品な甘さで評判。ドライブの途に甘いもので一息つける癒やしの場所です。

岩手県下閉伊郡田野畑村菅窪40-3 / OPEN：11:00～18:00 / 月・火・水曜休



『山懐に抱かれて』

◇ 田野畑村 警ドキュメンタリー

監督：遠藤隆 / 出演：吉塚一家、室井滋 (語り) / 2019年 田野畑村の豊かな自然のなかで酪農を営む大家族を、24年にもわたり見つめ続けた貴重なドキュメンタリー。放送文化基金賞など数々の賞に輝き、「本当の豊かさとは何か」を問いかける名作。

©テレビ岩手

02 宮古

映画で旅する三陸 ▶ 主なロケ地、舞台 ▶ カテゴリ

久慈北 IC



三陸沿岸道路

田野畑中央 IC

宮古市 Miyako

宮古中央 IC

岩手県

← 至盛岡

← 至花巻

◇ 十割そばたからや

宮古市茂市にある蕎麦店。つなぎを使わない香り高い十割そばを提供しており、遠方から通うファンも多い名店です。
岩手県宮古市茂市4-9-1 / OPEN: 11:00~15:00 / 火曜休

◇ 赤前の「後ろ戸」

映画「すずめの戸締まり」の主人公・岩戸鈴芽の美家の跡地にある電波塔付近の「後ろ戸」を再現。近くにある宮古運動公園の駐車場に停車できます。
岩手県宮古市赤前第8地割



『タイムグラバあちゃん』

▶ 宮古市 録ドキュメンタリー
監督：澄川嘉彦 / 出演：向田マサヨさんほか / 2024年
早池峰山のふもとの開拓地タイムグラで、厳しい自然と寄り添いながら大豆を育て、味噌を仕込み、力強く美しい日々を紡いだおばあちゃんの15年間の記録。
©「タイムグラバあちゃん」製作委員会



『波あとのあかし』

▶ 宮古市 録ドキュメンタリー
監督：坂下清 / 出演：宮古市の人々 / 2014年
宮古市に伝わるお盆の風習「松明かし」を見つめ、幾度も大津波を経験してきた地域と、人が人を用うことの尊さを静かに紐解くドキュメンタリー。山形国際ドキュメンタリー映画祭でも上映された感動作。
©2014 Kiyoshi Sakashita



『鹿踊りだぢい』

▶ 宮古市 録ドキュメンタリー
監督：坂下清 / 出演：川内鹿踊の皆様々 / 2016年
東北地方に伝わる郷土芸能「鹿踊り」。宮古市の「川内鹿踊」に伝わる門外不出の巻物を特別にひも解き、そのルーツと命の営みに迫る。地域で大切に守り継がれてきた伝統の奥深さに触れる映像記録。
©2016 Kiyoshi Sakashita



◇ Tamiser (タミゼ)

宮古駅から魚菜市場に向かう途中にあるパン屋さん。フランスパンのほか、クロワッサンやキッシュ、サブレなど、フランスで日常的に食べられるパンや焼き菓子を提供しています。「タミゼ」はフランス語で「粉をふるう」という意味で、要らないものは除いた素材そのものを届けたいという気持ちも込められています。
岩手県宮古市保久田4-13 / OPEN: 8:00~17:00 / 不定休

◇ 高田魚店

宮古の新鮮な魚介類が並ぶ鮮魚店。店頭にはその時期一番美味しい魚が並び、地元の人々の台所を支えています。美味しい魚の選び方や食べ方も気さくに教えてくれます。
岩手県宮古市末広町7-30 / OPEN: 9:00~18:00



◇ 菓子工房 ねこのて

猫の看板が可愛いしケーキ屋さん。季節のフルーツを使ったケーキや焼き菓子が並びます。甘さ控えめで優しい味わいのスイーツは、旅の疲れを癒やしてくれます。
岩手県宮古市磯鶏沖10-3 / OPEN: 10:00~18:00 / 月曜休



◇ 鳥もと

宮古で人気の焼き鳥店。炭火焼のジューシーな焼鳥はもちろん、ワインソムリエでチーズプロフェッショナルの女将が、焼鳥屋価格で提供するワインとチーズも好評です。地元の活気を感じながら、美味しいお酒と料理を堪能できます。
岩手県宮古市大通2丁目6-12 / OPEN: 17:30~23:00 / 日曜休



◇ 喫茶 ずぎのび

個性を楽しめるよう古の直火式焙煎機で熟練の焙煎士が仕上げたコーヒー豆は、挽きたてをハンドドリップで淹れています。派手さはありませんが、ちょっとばかりこだわりのあるスイーツと軽食もご一緒にどうぞ。鎌ヶ崎の裏通りで細々と営業中。どうぞふらりとでもお気軽にお立ち寄りください。
岩手県宮古市鎌ヶ崎上町2-30 / OPEN: 11:00~17:00 / 月曜休



『煙突と映画館〜みやこシネマリン閉館の記録』

▶ 宮古市 録ドキュメンタリー
監督：立木祥一郎 / 出演：櫛形一則ほか / 2017年
19年間にわたり三陸沿岸の映画文化を支え続けた「みやこシネマリン」。その閉館までの最後の日々を温かく見つめ、映画館という場所がどれほど地元の人々に愛されていたかを伝える幻のドキュメンタリー。
©一般社団法人コミュニティシネマセンター



◇ 黒森神社

宮古市中心部に近い黒森山にある神社。映画「廻り神楽」では、黒森山の神様が獅子頭に乗り移り権現様となって旅する様子を取り上げた。屋でも森閑として神々しいスポット。
岩手県宮古市山口第4地割132
『廻り神楽』監督 遠藤協さんオススメ



◇ CAFE&BAR AZITO (アジト)

宮古大通りにある秘密基地のようなおしゃれなカフェ&バー。昼は食堂のようながリユームのあるメニューが多い、アットホームなお店です。一方、夜はお酒の種類が豊富なBARとして…パフェやお食事だけのお客様も大歓迎！1度入ればきつとまた来なくなるかも？
岩手県宮古市大通2-83-5 / OPEN: 11:00~16:00, 18:00~23:00 / 木曜休



◇ 酒と飯 笑びす (えびす)

宮古駅から徒歩圏内にある居酒屋。新鮮な刺身や創作料理など、メニューが豊富でどれも絶品。落ち着いた雰囲気、ゆっくりと食事を楽しめます。
岩手県宮古市末広町8-14 / OPEN: 17:30~23:00 / 日曜休



◇ TOMATO & ONION 宮古店

ジューシーな「弾丸ハンバーグ」が看板メニューのファミリーレストランです。牛肉100%、つなぎは一切不使用。食感も「THEお肉」、肉汁が口の中で弾けるようなおいしさが楽しめます。どのメニューにも、おいしい料理をお届けしたいという熱い想いがこもっています。
岩手県宮古市宮町1-3-17 / OPEN: 11:00~22:00 (21:30 フードL.O.)



『廻り神楽』

▶ 広域 (宮古市~釜石市など) 録ドキュメンタリー
監督：遠藤協、大澤未来 / 出演：黒森神楽の皆様 / 2017年
三陸沿岸の家々を巡り、人々の悲しみや祈りに寄り添い続ける「黒森神楽」。東日本大震災後も変わらず続く祈りの舞と海辺で生きる人々の絆を美しく描き出し、毎日映画コンクールドキュメンタリー映画賞にも輝いた傑作。
©VISUAL FOLKLORE INC.



◇ 浄土ヶ浜ビジターセンター

三陸復興国立公園・浄土ヶ浜の玄関口にある施設。自然情報や観光情報に発信しています。散策の拠点としてぜひ立ち寄りやすいスポット。
岩手県宮古市日立浜32-69 / OPEN: 9:00~17:00



◇ さとう衣料店・珈琲豆直売

シネマ・デ・アエルから徒歩約5分の服屋さん。2019年からは自家焙煎のコーヒー豆も販売。港町宮古の日々の暮らしへ、「少しでも質の良い服」、「毎日飲みたいコーヒー」を提案しています。店主のユーモアあふれるイラストを見ながらのお買い物も楽しみの一つです。
岩手県宮古市向町5-1 / OPEN: 10:30~19:00頃 (日・祝は18:00頃) / 不定休 (ブログやSNSでご案内)



『灯り続けた街の明かり—みちのくの医師の信念』

▶ 宮古市 録ドキュメンタリー
監督：水元泰嗣 / 出演：後藤医院の人々、山本一力 / 2014年
震災直後、停電と断水に見舞われた街で明かりを灯し続け、避難所としての役割を果たしながら透析医療をいち早く再開させて人々に安心を与えた後藤医院の奮闘の記録。
©水元泰嗣



◇ 宮古市魚市場食堂

安くて、早朝から開いているので撮影の前に食べられて助かった。しかも、どれも美味しい。
岩手県宮古市臨港通2番1号
『灯り続けた街の明かり—みちのくの医師の信念』プロデューサー 瀬川徹夫さんオススメ



『浦安魚市場のこと』

▶ 宮古市 録ドキュメンタリー
監督：歌川達人 / 出演：浦安魚市場の人々、宮古市魚菜市場の人々 / 2022年
2019年に惜しまれつつ閉場した千葉県・浦安魚市場の最後の日に密着した愛憎のドキュメンタリー。劇中には宮古市の市場の風景も一部登場し、海とともに生き、魚の流通を支える人々の活気と誇りを映し出す。
©KASAMA FILM・UTAGAWA TATSUSHITO

◇ 中華そば 多良福

本編撮影時、お昼休憩で立ち寄ったラーメン屋さん。衝撃的な美味しさで忘れられません。ちぢれ麺とスープが最高！
岩手県宮古市大通1丁目1-2

◇ クラブカウンターアクション宮古

映画本編で宮古の魚菜市場で撮影した映像を使用させていただきました。クラブカウンターアクション宮古でのライブシーンも撮影していたのですが、編集で泣く泣くカットすることに。壁にはサインなどがたくさんあって、地域の方や音楽ファンに愛されていることが伝わってくる素敵な場所でした。
岩手県宮古市大通2丁目6-11
『浦安魚市場のこと』監督 歌川達人さんオススメ

『どこの町にでもある話』

▶ 宮古市 録ドキュメンタリー
監督：木村真生 / 出演：太田昭彦、中村旭、竹原ピストル / 2026年
東日本大震災から15年「東北ライブハウス大作戦」をきっかけに生まれ宮古市に息づくKLUB COUNTER ACTION MIYAKOの、ありのままの「その後」を見つめたドキュメンタリー映画。

03 山田 → 釜石

映画で旅する三陸 ▶ 主なロケ地、舞台 響 カテゴリー

山田 Yamada

釜石市 Kamaiishi

大槌町 Otsuchi

岩手県

三陸鉄道 大槌駅

大槌町のシンボル「ひょうたん島(蓬莱島)」をイメージして作られた屋根が特徴の駅舎です。駅前や駅舎内には、ドン・ガバチョを始めとしたキャラクターの像が5体あり、フォトスポットとしても人気です。

岩手県上閉伊郡大槌町本町1-1



『未来につなぐために〜赤浜 震災から7年』

▶ 大槌町 響ドキュメンタリー
監督：小西晴子 / 出演：川口博美 / 2018年

巨大防潮堤の建設に反対し、自然を受け入れて海と共に生きていく覚悟を貫く大槌町赤浜地区の住民たちの姿を、川口博美の目を通して描いた映像記録。

©ドキュメンタリーアイズ / 小西晴子



『フレイフレー山田 ~忘れなための映像記録~』

▶ 山田町 響ドキュメンタリー
監督：御木茂則 / 出演：法政大学応援団、山田町に住む人たち / 2011年

震災直後の岩手県山田町へボランティアに入った法政大学応援団の学生たちが、瓦礫の町で地元の人々と交流し、全力でエールを送る姿を克明に記録した映像記録。

©御木茂則



◇ 釜揚げ屋

山田町の名物・牡蠣や海産物を使ったどんが人気の製麺所直営店。コシのある自家製麺と、出汁の効いたつゆが自慢です。岩手県下閉伊郡山田町山田4-5-1 / OPEN: 11:00~15:00 / 月曜休



◇ ビットイン南風

山田町にあるカフェ&喫茶。地元の人々の憩いの場となっており、コーヒーや軽食、重食を提供しています。ツーリングの休憩(ビットイン)にもぴったり。

岩手県下閉伊郡山田町境町3-1 / OPEN: 11:00~19:00 (土日祝18:00) / 月曜休



◇ 三陸鉄道釜笠駅

各地から映画「すずめの戸締まり」ファンが訪れる駅舎には来訪者用のノートが置かれ、思い思いの言葉が綴られています。

岩手県下閉伊郡山田町釜笠第12地割



◇ 山田湾展望広場の「後ろ戸」

美しい山田湾を見下ろす広場に設置された「すずめの戸締まり」ファンの記念撮影スポットとなっています。

岩手県下閉伊郡山田町釜笠第11地割111-9

『風の電話』

▶ 大槌町ほか 響ドラマ
監督：諏訪敦彦 / 出演：モトロー世理奈、西島秀俊、三浦友和 / 2020年

大槌町に実在し、世界中から人々が訪れる「風の電話」をモチーフにしたロードムービー。ベルリン国際映画祭でも高く評価された。家族を失った少女が故郷へと向かう魂の旅路を描く。



◇ 風の電話
死別した従兄弟ともう一度話するため、ガーデンデザイナーのご主人が自宅の庭に設置した電話ボックス。多くの人の悲しみを癒し、今や世界各地に広がる「風の電話」発祥の1台。(個人の敷地内にあるので訪問の際は日時を確認の上、十分にご配慮ください)
岩手県上閉伊郡大槌町浪板9-36-9



『岬のマヨイガ』

▶ 大槌町 響アニメ
監督：川面真也 / 出演(声)：芦田愛菜、栗野咲莉、大竹しのぶ / 2021年

岩手県出身の作家・柏葉幸子の小説をアニメ化し、毎日映画コンクールアニメーション映画賞を受賞。傷ついた少女たちが、ふしぎな古民家で妖怪たちとふれあひながら笑顔を取り戻していく、大槌町がモデルとなった美しい風景が魅力のファンタジー。

©柏葉幸子・講談社 / 2021『岬のマヨイガ』製作委員会



『赤浜ロックンロール』

▶ 大槌町 響ドキュメンタリー
監督：小西晴子 / 出演：阿部力、赤浜地区の人々 / 2015年

津波で大きな被害を受けた大槌町赤浜で、復興に向けて力強く、そしてロックに生きる漁師たちの姿をユーモアたっぷりに描いた痛快な映像記録。

©ドキュメンタリーアイズ / 小西晴子



◇ 大槌町赤浜の蓬莱島

弁天様を祀る蓬莱島は、大槌湾に浮かぶ島で、ひょっこりひょうたん島のモデルとも言われています。この島も、大槌町を襲った最大22.4mの津波に遭いましたが、漁の女神でもある弁天様は流されずに無事でした。港町の遠洋、沿岸、そして養殖漁業の歴史を弁天様は見守ってきました。今も海を守る女神です。

岩手県上閉伊郡大槌町赤浜2丁目

『赤浜ロックンロール』監督小西晴子さんのオススメ



◇ 道の駅ふなこしいぐべす

令和7年7月にリニューアルオープン。地元野菜、鮮魚、加工品を販売しており、展望テラスからは山田湾を一望することができます。

岩手県下閉伊郡山田町船越第6地割141 / OPEN: 9:00~17:30



◇ 道の駅やまだ おいすた

2023年にオープンした新しい道の駅。「おいすた(Oyster)」の名の通り、山田町名産の牡蠣をはじめとする新鮮な海産物や特産品が充実しています。

岩手県下閉伊郡山田町山田2-111-2 / OPEN: 9:00~18:00



◇ さわや書店 イオンタウン釜石店

イオンタウン釜石内にある書店。広々とした店内で、話題の最新刊から郷土本まで幅広いラインナップを揃えています。

岩手県釜石市港町2-1-1 イオンタウン釜石1F / OPEN: 9:00~20:00



◇ 大槌町文化交流センター おしやっち

図書館やホールを備えた、木のぬくもりあふれる複合施設。震災伝承の展示もあり、大槌の文化と歴史に触れることができます。

岩手県上閉伊郡大槌町末広町1-15 / OPEN: 9:00~22:00 / 火曜休

『遺体 明日への十日間』

▶ 釜石市 響ドラマ
監督：若塚良一 / 出演：西田敏行、佐藤浩市、柳葉敏郎 / 2013年

釜石市の遺体安置所を舞台に、極限状態のなかで死者の尊厳を守ろうと奔走した人々の、知られざる真実の物語。あまりにも過酷で温かい、人間の強さと優しさを描いた渾身のドラマ。

◇ うのすまい・トモス

「東日本大震災の記憶や教訓を将来に伝えるとともに、生きることの大切さや素晴らしさを感じられ、憩い親しめる場」として、複数の公共施設を一体的に配置し、地域活動や観光交流を促進するエリアです。

岩手県釜石市鶴住居町4-901-2 / OPEN: 9:00~18:00 (時間は施設により異なります)



◇ 道の駅 釜石仙人峠

釜石の西の玄関口に位置する道の駅。名物の「甲子柿(かっしがき)」を使ったスイーツや、釜石ラーメンなどが味わえます。

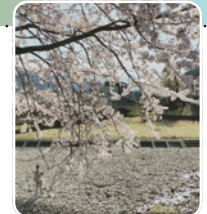
岩手県釜石市甲子町第7地割155-4 / OPEN: 9:00~18:00



◇ Cafe Kikuyoshi (カフェキヨシ)

釜石市只越町にある落ち着いた雰囲気のカフェ。こだわりのコーヒーやスイーツを提供。街歩き休憩に立ち寄りたくなるお店です。

岩手県釜石市只越町2-1-16 / OPEN: 12:00~19:00 / 火・水曜休



◇ 小川町の桜

満開から葉桜へ変わる時期に撮影をしました。みごとな桜と小川の景色。遠くに見える山々まで。もう一度桜を撮ると考えたら、日本全国でも候補に挙がります。

岩手県釜石市小川町、桜木町周辺
有限会社寿々福
(『釜石ラーメン物語』製作協力)
伊藤直克さんのオススメ



『釜石ラーメン物語』

▶ 釜石市 響ドラマ
監督：今関あきよし / 出演：井桁弘恵、池田朱那、利重剛 / 2023年

亡き母の「釜石ラーメン」の味を復活させるため、反発し合う姉妹がドタバタと奮闘するハートフル・コメディ。釜石の昭和レトロな街並みと、底抜けに明るく温かい地元の人々の姿が印象的な一作。

©「釜石ラーメン物語」製作委員会



◇ 魚河岸テラス

釜石港を見渡す開放的なロケーションにある施設。1階には物販スペース、2階には海鮮料理やイタリアンなどが楽しめる飲食店が入っています。

岩手県釜石市魚河岸3-3 / 営業時間は施設により異なります



◇ 釜石情報交流センター

「釜石PIT」を併設した、市民の交流拠点。カフェスペースやラウンジがあり、イベント開催時などは多くの人で賑わいます。

岩手県釜石市大町1-1-10 / OPEN: 9:00~21:00

04 大船渡 → 気仙沼

映画で旅する三陸 ▶ 主なロケ地、舞台 響カテゴリー



よしの珈琲
自家焙煎の香り高いコーヒーが楽しめるお店。コーヒー豆の販売も行っており、自宅でも本格的な味を楽しみたい人におすすめです。
岩手県大船渡市盛町内ノ目3-32 / OPEN: 11:30~17:00 / 水・木曜休



喫茶店マリゾー
大船渡で長く愛される喫茶店。落ち着いた店内でいただくコーヒーや軽食は、どこか懐かしくほっとする味わいです。
岩手県大船渡市猪川町宇籠樋石5-9 / OPEN: 11:30~18:00 (金土20:00) / 火、第3月曜休



大船渡市防災観光交流センター おおふなぼーと
大船渡駅前にあるランドマーク施設。観光案内所や休憩スペース、展望デッキがあり、大船渡の海と街を一望できます。
岩手県大船渡市大船渡町宇茶屋前7-6 / OPEN: 9:00~18:00

大船渡市民文化会館 リアスホール
優れた音響と建築美を誇る文化会館。三陸の文化芸術の拠点として、さまざまなイベントが行われています。
岩手県大船渡市盛町宇下館下18-1

BOOK BOY 大船渡店
大船渡市内にある複合書店。広い店内でゆっくりと本を選ぶことができ、地域の読書文化を支えています。
岩手県大船渡市大船渡町宇野々田22-5 / OPEN: 9:00~21:00



『未来をなぞる 写真家・島山直哉』
▶ 陸前高田市 響ドキュメンタリー
監督：島山容平 / 出演：島山直哉 / 2015年
東日本大震災で実家を流され母を亡くした写真家・島山直哉が、姿を消して行く故郷・陸前高田の風景と向き合ってきたか、その2年間を総括的に追ったドキュメンタリーである。
©「未来をなぞる 写真家・島山直哉」製作委員会

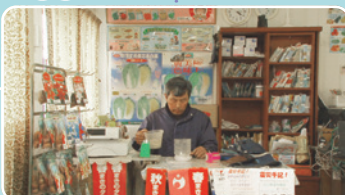
ジャズ喫茶ジョニー
町の音楽や美術好きが集まる溜まり場。島山氏も高校の頃から通っていた場所。
岩手県陸前高田市高田町荒町44
『未来をなぞる 写真家・島山直哉』
照井由紀子さんのオススメ



SHARKS (シャークス)
日本一のサメ水揚げを誇る気仙沼ならではの、サメ革製品やサメグッズの専門店。サンドウィッチマンも御用達。併設の「café RST」では、地元牧場産「モーランドソフト」のミルクを使った濃厚なソフトクリームが味わえます。
宮城県気仙沼市南町海岸1-14 ムカエル1F / OPEN: 9:00~17:00 (季節により変動あり)



『先祖になる』
▶ 陸前高田市 響ドキュメンタリー
監督：池谷薫 / 出演：佐藤直志 / 2013年
津波で家を失った77歳のおじいちゃんが、同じ場所に自らの手で家建て直す姿を追った傑作ドキュメンタリー。国内外の映画祭で絶賛された、驚くべき生命力とユーモアあふれる人間の記録。
©2013 Lotus



『息の跡』
▶ 陸前高田市 響ドキュメンタリー
監督：小森はるか / 出演：佐藤真一 / 2017年
津波で流された種苗店をプレハブでいち早く再建し、日々の思いを英語で書き綴る一人の男性の姿を静かに追った記録映画。国内外で数々の賞を受賞した、静かだけれど確かな希望のドキュメント。
©2016 KASAMA FILM + KOMORI HARUKA



『空に聞く』
▶ 陸前高田市 響ドキュメンタリー
監督：小森はるか / 出演：阿部裕美 / 2020年
陸前高田の災害FMで、町の人々の声をリスナーに届け続けた女性パーソナリティの3年半を追ったドキュメンタリー。山形国際ドキュメンタリー映画祭などで高い評価を受けた、見えない「声」の記録。
©KOMORI HARUKA

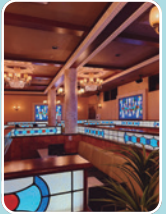


『この場所』
▶ 陸前高田市 響ドラマ
監督：ハイメ・パセナ2世 / 出演：中野有紗、ギャビー・パディラ、片岡礼子 / 2026年
父の葬儀で陸前高田を訪れた日系フィリピン人の女性が、震災後の街で暮らす異母姉妹と出会い、衝突と理解を繰り返しながら心が通い合う瞬間を繊細に映し出した日比合作映画。
©2026 映画「この場所」Film Partners

道の駅 大谷海岸 (おやかいかん)
目の前に雄大な海が広がる、絶好のロケーションにある道の駅。映画「すずめの戸締まり」で、主人公たちが旅の途中で休憩した道の駅のモデルとされています。気仙沼のお土産が充実しており、ドライブの休憩に最適。
宮城県気仙沼市本吉町三島9 / OPEN: 9:00~18:00 (施設により異なる)



『ただいま、つなかん』
▶ 気仙沼市 響ドキュメンタリー
監督：風間研一 / 出演：菅野一代、渡辺謙 (語り) / 2023年
唐桑半島の海辺にある民宿「つなかん」。明るい女将・一代さんと、全国から集まった学生ボランティアたちの絆を10年以上にわたり追った。数々の試練を乗り越え笑顔で「おかえり」と迎えてくれる人々の記録。
©2023 映画「ただいま、つなかん」製作委員会



喫茶マンボ
気仙沼で長年愛される、昭和レトロな喫茶店。意外な名物は、パンチの効いた「キムチ」と「ラーメン」。スイーツも充実しており、春は「イチゴババロア」、秋は「マロンパフェ」と、季節の味を求めている多くの人が訪れます。
宮城県気仙沼市南町1-4-1 / OPEN: 11:00~15:00、17:00~21:00 / 月曜休



『春との旅』
▶ 気仙沼市ほか 響ドラマ
監督：小林政広 / 出演：仲代達矢、徳永えり、大滝秀治 / 2010年
足を痛め、孫の春の面倒くなくては生きていけない元漁師と彼を支える孫娘の、居場所探しのロードムービー。毎日映画コンクール日本映画大賞に輝き、二人の旅路をそっと見守るように優しく映し出される気仙沼のどかな漁港や海辺の風景。
©2010「春との旅」フィルムパートナーズ

『自虐の詩』
▶ 気仙沼市 響ドラマ
監督：堤幸彦 / 出演：中谷美紀、阿部寛 / 2007年
大ヒット4コマ漫画を原作にした、笑って泣ける異色のラブストーリー。不器用すぎる夫婦の切ない過去を描くシーンで登場する。気仙沼の情緒あふれる港町は、二人の愛情の深さをより一層引き立てる。

『サンセット・サンライズ』

▶ 気仙沼市、大船渡市 響ドラマ
監督：岸善幸 / 出演：菅田将暉、井上真央、中村雅俊 / 2025年
宮藤官九郎脚本 × 菅田将暉主演で贈る、笑って元気になれる移住コメディ。三陸の港町へ「お試し移住」した主人公が、個性豊かな地元の人たちと本音でぶつかり合う姿を描くポジティブな群像劇。



茶処ブランタン
民家を改装した親戚の家のようなカフェ。優しい甘さのぼた餅や、さまざまな海鮮バスタが評判です。『サンセット・サンライズ』で「宇田川町役場」として登場した気仙沼市役所唐桑支所から徒歩7分。
宮城県気仙沼市唐桑町宿浦409-2 / OPEN: 11:00~17:00 / 水・木曜休

福幸酒場 おだびまっこ
気仙沼の夜を賑わす人気の居酒屋。『サンセット・サンライズ』の撮影時、キャスト・スタッフがここで食べた「メカジキのハーモニカ(希少部位)」のあまりの美味しさに感動し、急速映画のメニューに追加されたという逸話を持ちます。
宮城県気仙沼市神山2-2 / OPEN: 17:00~23:00 / 日曜休



唐桑御殿つなかん
映画『ただいま、つなかん』の舞台であり、『サンセット・サンライズ』のロケ地(唐桑半島・鮎立地区)でもある民宿。海の幸をふんだんに使った料理と、名物女将の底抜けの明るさが魅力。海を望むサウナも完備し、心身ともに整う癒やしの宿です。
宮城県気仙沼市唐桑町鮎立81 / チェックイン 15:00、チェックアウト 10:00
『ただいま、つなかん』制作担当 柴崎木綿子さんのオススメ



『なみのこえ 気仙沼』
▶ 気仙沼市 響ドキュメンタリー
監督：濱口竜介、酒井耕 / 出演：気仙沼の人々 / 2013年
気仙沼に暮らす人々がカメラに向かって震災の記憶を語り合う姿を通じ、失われた風景や人々の息遣いをスクリーンに焼き付けた対話の記録。
©2013 サイレントヴォイス

『護られなかった者たちへ』

▶ 気仙沼市、石巻市ほか 響ドラマ
監督：瀬々敬久 / 出演：佐藤健、阿部寛、清原果耶 / 2021年
現代社会の闇と、震災の癒えない傷跡に鋭く切り込んだ社会派ミステリー。日本アカデミー賞を多数受賞し、「本当の正義とは何か」を問いかける重厚なストーリーと俳優陣の魂の熱演が光る話題作。



手打ち釜揚げうどん・蕎麦屋団平 (だんべい)
コンのある手打ちうどんが自慢のお店。映画『護られなかった者たちへ』で、佐藤健や佐野美津子が劇中で美味しそうに食べていたうどんは、まさにこの味。あっさりとした支那そばも隠れた人気メニューです。
宮城県気仙沼市本浜町1-2-16 / OPEN: 11:00~14:00 / 水曜休

04 南三陸 → 石巻

映画で旅する三陸 ▶ 主なロケ地、舞台 響 カテゴリ

『生き抜く〜南三陸町人々の一年』

▶ 南三陸町 響ドキュメンタリー
監督：森岡紀人 / 出演：南三陸町の人々、生瀬勝久（語り） / 2012年

震災直後から1年間の南三陸町に密着し、絶望的な状況のなかでも前を向いて生き抜こうとする人々の姿を克明に記録したドキュメンタリー。悲しみを抱えながらも助け合う地域の絆の記録。



『春をかさねて』

▶ 石巻市 響ドラマ
監督：佐藤そのみ / 出演：齋藤小枝、齋藤桂花、齋藤由佳里 / 2019年

石巻市大川地区で撮影された、10代の少女たちの揺れ動く心情を繊細に切り取った短編映画。妹を失った喪失感を抱える少女が、美しい地元の風景のなかで少しずつ春へと歩み出す姿を描く静かで美しい鎮魂歌。

©Sonomi Sato



『あなたの瞳に話せたら』

▶ 石巻市 響ドキュメンタリー
監督：佐藤そのみ / 出演：当時の子どもたち / 2019年

大川小学校で家族や友人を亡くした当時の子どもたちが、故人へ宛てた手紙の朗読を通して、時間とともに変化する切実な思いを胸に抱いた静かなドキュメンタリー。

©Sonomi Sato



☪ Cafe 蓮 (レン)

石巻駅からほど近い場所にある、農家出身のパティシエがつくるジビエごはんとお菓子のお店。地元の食材を使ったランチプレートや手作りスイーツが人気です。石巻の食の豊かさをカジュアルに楽しめます。

宮城県石巻市立町2-7-26
/ OPEN: 土日祝 11:00~
17:00、水木金 9:00~18:00
/ 月火休

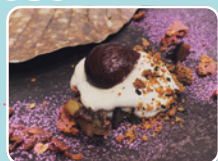


『Dr. カキゾエ歩く処方箋
〜みちのく潮風トレイルを往く〜』

▶ 広域（青森県〜福島県）
響ドキュメンタリー
監督：野澤和之 / 出演：垣添忠生、みちのく潮風トレイルで出会った人々 / 2024年

がん専門医である82歳の垣添医師が、青森から福島までの1025キロのみちのく潮風トレイルを踏破し、がんサバイバーや被災者と交流しながら希望を探し求めるロードムービー。

©2024 Dr. カキゾエ歩く処方箋映画制作委員会



☪ 四季彩食 いまむら

各地の旬の食材を料亭出身のご主人の繊細な技法で堪能できるお店。絶妙な地酒とのペアリングも楽しめます。石巻の「食」の深さをじっくりと味わいたい方におすすめです。

宮城県石巻市中央2-7-2 /
OPEN: 18:00~23:00 / 日月休



☪ IRORI (イロリ) 石巻

人と情報が集まる「街のロビー」的オープンシアオフィス&カフェ。かつてのガレージをリノベーションした開放的な空間ではカフェ利用の他、石巻の様々なプロダクト商品の販売や多彩なイベントも随時実施されています。

宮城県石巻市中央2-10-2 新田屋ビル1F / OPEN: 10:00~19:00 (イベント時は22:00) / 無休



☪ 石巻南浜津波復興祈念公園

他界した父親が、私よりずっと前到这里を訪ねていました。個人的に感慨深い思い出の地です。

宮城県石巻市南浜町2丁目1
『Dr. カキゾエ歩く処方箋
〜みちのく潮風トレイルを往く』
配給担当 志村さんのオススメ

☪ FUTABA INN (フタバイン)

石巻市内の飲食店街に程近いB&Bスタイルの宿。リゾートを感じさせるウッディーな館内と快適な客室は観光や滞在の拠点に最適。映画ロケ隊の定宿としても知られています。夕食はオーナーおすすめの食事処や居酒屋を紹介していただけます。

宮城県石巻市住吉町1-2-15 /
チェックイン 16:00~、
チェックアウト 10:00



『ガレキとラジオ』

▶ 南三陸町 響ドキュメンタリー
監督：梅村太郎、塚原一成 / 出演：南三陸町の人々、役所広司（語り） / 2013年

南三陸町で立ち上がった手作りの災害ラジオ局「FM みなさん」。マイクの前に座ったこともない町民たちが、声で町に元気を届けようと奮闘する姿を通して、言葉の持つ本当の力を伝えるドキュメンタリー。

©Wonder Laboratory



はでんや
『波伝谷に生きる人びと』

▶ 南三陸町 響ドキュメンタリー
監督：我妻和樹 / 出演：波伝谷地区の人々 / 2015年

震災前から南三陸町波伝谷地区に密着し、ありふれた、けれどかけがえない豊かな日常を記録したドキュメンタリー。失われてしまった美しい海辺の暮らしと、そこに生きる人々の息遣いが鮮やかによみがえる映像記録。

©2014 ピーストリー プロダクツ



『願いと揺らぎ』

▶ 南三陸町 響ドキュメンタリー
監督：我妻和樹 / 出演：波伝谷地区の人々 / 2017年

『波伝谷に生きる人びと』の続編。震災後、コミュニティが分断されながらも、伝統の獅子舞を復活させようと前を向く人々の姿を記録。どんなに景色が変わっても変わらない「ふるさとへの思い」が静かに胸に迫る。

©2017 ピーストリー プロダクツ



ちこり
『千千里の空とマドレーヌ』

▶ 南三陸町 響ドキュメンタリー
監督：我妻和樹 / 出演：オーイング菓子工房 Ryo のご家族 / 2021年

「お菓子で人を笑顔にしたい」と被災から立ち上がったパティシエと、彼の夢に共感し、町の復興を後押ししようと応援する人々。支援を受ける側・する側の心の機微や葛藤を丁寧に描きながら、両者の交流の軌跡を描く。

©2021 ピーストリー プロダクツ

☪ オーイング菓子工房 Ryo

映画のラスト、主人公のパティシエ・長嶋涼太さんが、応援してくれたたくさんの人の想いに応じて南三陸さん商店街にお店をオープンします。たくさんの夢が詰まった焼き立てのマドレーヌを是非食べに行ってください。

宮城県本吉郡南三陸町志津川字五日町201番地5さん商店街B-7

『千千里の空とマドレーヌ』監督
我妻和樹さんのオススメ

『パンドラの匣』

▶ 南三陸町 響ドラマ
監督：富永昌敬 / 出演：染谷将太、川上未映子、仲里依紗 / 2009年

太宰治の小説を映画化した、ちょっぴりオフビートで瑞々しい青春群像劇。昭和の結核療養所のノスタルジックな雰囲気と再演するため、今は失われてしまった南三陸町（旧志津川町）の美しい風景のなかで撮影された貴重なフィルム。



☪ 自然食堂さん

管理栄養士が営む健康をコンセプトにした食堂。地元の旬の食材をふんだんに使い、加工品はほぼ使わずに手作り、栄養バランスの整った身体に優しいごはんは心と体が整う旅行者にも頼もしい存在。「さん」(SUN=太陽)のように温かな食事処です。

宮城県石巻市中央2-7-31 / OPEN: 11:00~17:00 / 月・火休

『雄勝〜法印神楽の復興』

▶ 石巻市 響ドキュメンタリー
監督：手塚真 / 出演：雄勝法印神楽保存会 / 2012年

壊滅的な被害を受けた石巻市雄勝町を舞台に、室町時代から伝わる伝統芸能「雄勝法印神楽」の復活に向けた人々の歩みと心の復興を描いたドキュメンタリー。



『海の産屋 雄勝法印神楽』

▶ 石巻市 響ドキュメンタリー
監督：北村智雄、戸谷健吾 / 出演：雄勝法印神楽保存会、寺尾聡（語り） / 2018年

津波で壊滅的な被害を受けた石巻市雄勝町で、生活再建とともに伝統の「雄勝法印神楽」の復興に立ち上がった漁師たちの姿を追う。流失した祭具を作り直し、海辺の舞台で600年前と変わらない舞を捧げる人々の力強い人間ドラマ。

©Visual Folklore Inc.



『有り、触れた、未来』

▶ 広域（宮城県内各所） 響ドラマ
監督：山本透 / 出演：嵯庭ななみ、手塚理美、北村有起哉 / 2023年

震災から10年後の宮城県を舞台に、震災の語り部の著書から着想を得て描かれた、命と向き合い、独りではなく支え合って生きる人々の群像劇。

©UNCHAIN10+1



『なみのおと』

▶ 広域（宮古市・気仙沼市・南三陸町ほか）
響ドキュメンタリー
監督：濱口竜介、酒井耕 / 出演：三陸沿岸の人々 / 2013年

濱口竜介監督らが、三陸沿岸の人々の「声」を記録したドキュメンタリー。家族や友人など、親しい人同士がカメラの前で静かに語り合う姿をとらえた、観る者も一緒に耳を傾けているような不思議で温かい対話の記録。

©2011 サイレントヴォイス



『きこえなかったあの日』

▶ 広域（宮城県内各所） 響ドキュメンタリー
監督：今村彩子 / 出演：聴覚障害を持つ方々 / 2020年

防災無線の音声が聞こえず避難が困難だった、ろう高齢者たちの過酷な体験や全国から駆けつけた支援者たちとの絆を、自身もろう者である監督が追ったドキュメンタリー。

©2020Studio AYA

掲載映画一覧

映画作品情報は各映画作品の製作・配給会社様からの情報、画像のご提供及び、編集部が公開済みの情報から取材したものです。情報は取材時点のものにつき、各作品の詳細、上映や配信の最新情報はご自身でご確認ください。

頁	作品名	公開年	エリア	主な舞台	カテゴリ	監督	主な出演者
P. 06~07	なにやどやら	2012	岩手	洋野町	ドキュメンタリー	平田潤子	小子内地区の人々
	ライアの折り	2015	青森	八戸市	ドラマ	黒川浩行	鈴木杏樹、宇梶剛士、武田梨奈
	山懐に抱かれて	2019	岩手	田野畑村	ドキュメンタリー	遠藤隆	吉塚一家、室井滋（語り）
	星屑の町	2020	岩手	久慈市	ドラマ	杉山泰一	大平サブロー、のん、ラサール石井
	マイ・ブローグ・マリコ	2022	青森	八戸市	ドラマ	タナダユキ	永野芽郁、奈緒、窪田正孝
	永遠の1分。	2022	岩手	久慈市	ドラマ	曾根剛	マイケル・キダ、Awich、毎熊克哉
P. 08~09	タイマグラばあちゃん	2004	岩手	宮古市	ドキュメンタリー	澄川嘉彦	向田マサヨさんほか
	灯り続けた街の明かり〜みちのくの医師の信念	2014	岩手	宮古市	ドキュメンタリー	水元泰嗣	後藤康文、山本一力
	波あとのあかし	2014	岩手	宮古市	ドキュメンタリー	坂下清	宮古市の人々
	鹿踊りだち	2016	岩手	宮古市	ドキュメンタリー	坂下清	川内鹿踊の皆様
	煙突と映画館	2017	岩手	宮古市	ドキュメンタリー	立木祥一郎	榎桁一則ほか
	廻り神楽	2017	岩手	広域（宮古市～釜石市など）	ドキュメンタリー	遠藤協、大澤未来	黒森神楽の皆様
	浦安魚市場のこと	2022	岩手	宮古市	ドキュメンタリー	歌川達人	森田釣羊、浦安魚市場の方々
	どこの町にでもある話	2026	岩手	宮古市	ドキュメンタリー	木村真生	太田昭彦、中村旭、竹原ピストル
	釣りバカ日誌6	1993	岩手	釜石市	ドラマ	栗山富夫	西田敏行、三國連太郎、石田えり
	フレーフレ山田	2011	岩手	山田町	ドキュメンタリー	御木茂則	法政大学応援団
	赤浜ロックンロール	2013	岩手	大槌町	ドキュメンタリー	小西晴子	阿部力、赤浜地区の人々
	遺体 明日への十日間	2013	岩手	釜石市	ドラマ	君塚良一	西田敏行、佐藤浩市、柳葉敏郎
	未来をつなぐために〜赤浜 震災から7年	2018	岩手	大槌町	ドキュメンタリー	小西晴子	川口博美
	風の電話	2020	岩手	大槌町	ドラマ	諏訪敦彦	モータラ世理奈、西島秀俊、三浦友和
	岬のマヨイガ	2021	岩手	大槌町	アニメ	川面真也	芦田愛菜、粟野咲莉、大竹しのぶ
	釜石ラーメン物語	2023	岩手	釜石市	ドラマ	今関あきよし	井桁弘恵、池田朱那、利重剛
	自虐の詩	2007	宮城	気仙沼市	ドラマ	堤幸彦	中谷美紀、阿部寛ほか
	P. 10~11	春との旅	2010	宮城	気仙沼市	ドラマ	小林政広
なみのこえ 気仙沼		2013	宮城	気仙沼市	ドキュメンタリー	濱口竜介、酒井耕	気仙沼の人々
先祖になる		2013	岩手	陸前高田市	ドキュメンタリー	池谷薫	佐藤直志
未来をなぞる 写真家・畠山直哉		2015	岩手	陸前高田市	ドキュメンタリー	畠山容平	畠山直哉
息の跡		2017	岩手	陸前高田市	ドキュメンタリー	小森はるか	佐藤真一
空に聞く		2020	岩手	陸前高田市	ドキュメンタリー	小森はるか	阿部裕美
護られなかった者たちへ		2021	宮城	気仙沼市、石巻市ほか	ドラマ	瀬々敬久	佐藤健、阿部寛、清原果耶
ただいま、つなかん		2023	宮城	気仙沼市	ドキュメンタリー	風間研一	菅野一代、渡辺謙（語り）
サンセット・サンライズ		2025	宮城、岩手	大船渡市、気仙沼市	ドラマ	岸善幸	菅田将暉、井上真央、中村雅俊
この場所		2026	岩手	陸前高田市	ドラマ	ハイメ・パセナ2世	中野有紗、ギャビー・パディラ、片岡礼子
バンドラの匣		2009	宮城	南三陸町	ドラマ	富永昌敬	染谷将太、川上未映子、仲里依紗
P. 12~13		エクレール・お菓子放浪記	2011	宮城	石巻市	ドラマ	近藤明男
	生き抜く〜南三陸町人々の一年	2012	宮城	南三陸町	ドキュメンタリー	森岡紀人	南三陸町の人々
	雄勝〜法印神楽の復興	2012	宮城	石巻市	ドキュメンタリー	手塚真	雄勝法印神楽保存会
	なみのおと	2013	岩手、宮城	宮古市、気仙沼市、南三陸町ほか	ドキュメンタリー	濱口竜介、酒井耕	三陸沿岸の人々
	ガレキとラジオ	2013	宮城	南三陸町	ドキュメンタリー	梅村太郎、塚原一成	南三陸町の人々、役所広司（語り）
	波伝谷に生きる人びと	2014	宮城	南三陸町	ドキュメンタリー	我妻和樹	波伝谷地区の人々
	願いと揺らぎ	2017	宮城	南三陸町	ドキュメンタリー	我妻和樹	波伝谷地区の人々
	海の産屋 雄勝法印神楽	2018	宮城	石巻市	ドキュメンタリー	北村皆雄、戸谷健吾	雄勝法印神楽保存会、寺尾聰（語り）
	春をかさねて	2019	宮城	石巻市	ドラマ	佐藤そのみ	齋藤小枝、齋藤桂花、齋藤由佳里
	あなたの瞳に話せたら	2019	宮城	石巻市	ドキュメンタリー	佐藤そのみ	当時の子どもたち
	千古里の空とマドレーヌ	2021	宮城	南三陸町	ドキュメンタリー	我妻和樹	オーイング菓子工房 Ryoのご家族
	きこえなかったあの日	2021	宮城	各地	ドキュメンタリー	今村彩子	聴覚障害を持つ方々
P. 14~15	有り、触れた、未来	2023	宮城	石巻市ほか	ドラマ	山本透	桜庭ななみ、手塚理美、北村有起哉
	Dr.カキソエ歩く処方箋〜みちのく潮風トレイルを往く	2025	宮城	青森、岩手、宮城 各市町村	ドキュメンタリー	野澤和之	垣添忠生、みちのく潮風トレイルで出会った人々



Sanriku Cinema Journey—映画で旅する三陸
データ版はこちら

Let's 三陸！ アクセスガイド

各地から三陸エリアへ向かうには、新幹線や飛行機で主要都市（八戸・盛岡・仙台など）へアクセスし、そこからレンタカーやローカル線に乗り換えて沿岸を巡るのがおすすめルートです。

車・高速バスで行く

仙台から八戸まで、三陸の沿岸を南北に貫く「三陸沿岸道路（三陸道）」が全線開通！一部区間を除き通行料無料で利用できるため、車でのエリア周遊が飛躍的に快適になりました。同じく通行料無料の盛岡市と宮古市を結ぶ宮古盛岡横断道路、花巻市と釜石市を結ぶ東北横断自動車道で内陸エリアからのアクセスも良好です。首都圏からは宮古、釜石、気仙沼、石巻などの主要都市へ向かう直行の夜行高速バスが運行しており、寝ている間に到着できる便利な移動手段として人気です。



復興道路・復興支援道路情報サイト

飛行機で行く

3つの空港がアクセス拠点です。青森県南・岩手県北エリア（八戸・久慈）へは「三沢空港」、岩手県沿岸（宮古・釜石）へは「いわて花巻空港」、宮城県沿岸（気仙沼・南三陸・石巻）へは「仙台空港」が便利です。各空港からはレンタカー、鉄道、連絡バスをご利用ください。

旅のお役立ちサイト



全域
三陸復興国立公園



全域
みちのく潮風トレイル



青森
VISITはちのへ
観光物産サイト



岩手
三陸旅するべ
いわて三陸観光ガイド



宮城
宮城まるごと探訪
（三陸エリア）



「三陸シネマジャーニー」
上映プログラム

シネマ・デ・アエルで
お待ちしております。

毎月の定期上映プログラム「マンズリーセレクト」のほか、企画上映、コラボイベントなど多数開催！DMをいただければシネマジャーニーのご案内も（メンバーも募集中！SNSのフォローお待ちしております）



HP



Facebook



Instagram



X

Sanriku Cinema Journey—映画で旅する三陸 ガイドブック 2026・春

企画・制作・発行：シネマ・デ・アエルプロジェクト 岩手県宮古市本町2-2 東屋内 蔵
編集：有坂民夫
編集補助：榎桁一則、前澤梨奈、藤田諭、大垣隆義、北嶋侑史
編集協力：NE-PROJECTION、白木の灯（八戸エリア）、シアターキネマティカ（石巻エリア）、小野寺充太（気仙沼エリア）
デザイン：岩田デザイン事務所
スペシャルサンクス：fumoto株式会社、北村映画社

許可のない本誌掲載情報・画像等の転載、転記、複製を禁じます
三陸シネマジャーニーガイドブックは「道・絆プロジェクト」の支援を活用しています。



CINEMA DE AERU
シネマ・デ・アエル
映画で旅する 映画の心をつなぐ

